

一般質問通告書 12月議会

令和5年12月12日

番号	件名	氏名
1	中間貯蔵施設計画への疑問点を問う	山戸孝
2	子供たちを違法薬物や脱法ドラッグから守る教育を	山戸孝
3	仮称「御茶屋花公園」と東山から城山歴史公園までの歴史散策ルートの早期実現について	山村泰志
4	新聞に掲載された町長のコメントについて	秋山鈴明
5	中間貯蔵施設立地可能性調査に対する中国電力の対応と周辺自治体の反応について	清水康博

4人5件

定例会一般質問通告書

令和5年第4回上関町議会定例会（12月）

◆質問者1 山戸 孝	
質問事項	質問要旨
中間貯蔵施設計画の疑問点を問う	<p>①中間貯蔵施設の計画とその進め方について、周辺市町の首長から強い不信感が示されているが、今後の様々な事業の連携に影響が出るのではないかと。また建設について周辺自治体の同意等が必要だと考えるか。</p> <p>②電事連会長が町に中間貯蔵施設ができた場合の共同利用について「将来的に可能性があるなら検討したい」など発言をしたが、ほかの地域の使用済み核燃料まで受け入れることに抵抗感はないのか。</p> <p>③建設の可否を決める議論にはしっかり時間をかけるというが、具体的にどれくらい時間をかけどのような形で行うと考えているのか。</p> <p>④最終的な建設の可否は、何をもって判断するのか。</p>
子供たちを違法薬物や脱法ドラッグから守る教育を	<p>近年スマートフォンやインターネット等の普及を受け、若い世代に違法薬物や脱法ドラッグとの距離感が近くなり、また周囲から可視化されにくい状況が生まれている。</p> <p>本町のほとんどの高校生はスマートフォンを所有しており、小中学生の段階から自身のスマートフォンを持っている児童もいる。</p> <p>違法薬物や脱法ドラッグが簡単に入手できるツールが子供たちの手元にある。この現状を考えれば、教育の在り方もそれに対応していく必要があると考えられる。</p> <p>ネットリテラシーの一環としても違法薬物等の危険性を喚起するべきと考えるが、薬物乱用防止教室などは今後どのようにしていくべきと考えるか。</p>

◆質問者2 山村 泰志	
質問事項	質問要旨
仮称「御茶屋花公園」と東山から城山歴史公園までの歴史散策ルートの早期実現について	<p>以前から東山から城山歴史公園の散策ルートの整備の要望を出しているがまだ計画されていないように思う。</p> <p>コロナが5類に移行されてから来町者数はコロナ以前の状態よりさらに増加傾向にあると見受けられる。</p> <p>来町者の中にはリピーターも多く地域ブランドにはお金を払ってでも楽しみたいという傾向がみられる。しかし本町にはリピーターに楽しんでもらう地域ブランドが稀薄のように思う。</p> <p>地域ブランドの底上げを図るためにも、本町の「花咲く海のまち」のシンボルマークの1つとして、仮称「御茶屋花公園」とそれを活かす歴史散策ルート整備の早期実現を願う。</p>
◆質問者3 秋山 鈴明	
質問事項	質問要旨
1. 新聞に掲載された町長のコメントについて	<p>10月中国新聞に掲載されたインタビューで、「中間貯蔵施設の調査受け入れを決めた背景を教えてください。」という質問に対し「半島の行き止まりの町に誰が来ますか。」と町長は回答された。</p> <p>自治体の首長は率先して自分の町に人を呼び込むような発信をするものだと思っていたが「自分の町には誰も来ませんよ。」とも受け取られる発信をするのに驚きと戸惑いを隠せない。改めてこの言葉の真意を伺いたい。</p>
◆質問者4 清水 康博	
質問事項	質問要旨
中間貯蔵施設立地可能性調査に対する中国電力の対応と周辺自治体の反応について	<p>町長は中国電力からの中間貯蔵施設立地可能性調査の提案を受け入れ、当初調査開始の準備に1ヶ月、調査期間は半年程度と言っていたが、未だにボーリング調査や伐採等に着手できていないのは明らかに見切り発車と言える。</p> <p>周辺自治体への丁寧な説明という点においては、周辺自治体の首長から不満の声は既に上がっており、3カ月以上経過した先月28～30日に周辺自治体の首長に対し説明を行ったが、対応の遅さは否めない。</p> <p>以上の点を踏まえ、①8月18日以降の中国電力の</p>

調査に対する対応の評価。②調査受け入れ時に「周辺市町に対しても適時適切に情報提供などを行う事」を掲げていたが、周辺自治体首長らから苦言を呈されている状況について。③県内首長対象のアンケートの調査結果や、まちづくりへの影響を危惧する周辺自治体の首長の声を町長は改めてどう考えるか。④11月21日に代表して申し出に来た柳井市長と具体的にどのような話をしたのか。